

2040年

ボーダーフリー社会の実現 チーム名: ESD

メンバー:神谷健明、鬼頭孝嘉、倉知優馬、中村祐貴、古川智史

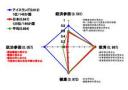
アドバイザリー講師 : 矢野 昌彦、豊田 将也、志水 剛

現状の把握



·SDGsランキング 166カ国中21位 しかし

ジェンダーギャップ指数 146力国中125位



技術革新は起こるが 人々の価値観は変わるか?

20年後に向けた提言の概要

ジェンダー・技術・国籍・言語・年齢 などを取っ払い 完全なボーダーフリー社会の実現



への理解浸透

理解浸诱

提案の内容

ジェンダーフリー / パリアフリー / テックフリー それぞれに対策を実施し 2040年にパーチャルスクールを用いたボーダーフリーを目指す

アクションプラン	概要	対象
①ジェンダーフリー バリアフリー	新規教育内容 AIの活用	小学校・中学校 の生徒
②テックフリー	官民連携セミナー VRの活用	高齢者 (受け入れ全年代)
③ボーダーフリー (バーチャルスクール)	仮想空間における交流 MRの活用	全年代

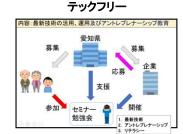




提案実現のための具体的な取組 (アクションプラン) と実現可能性

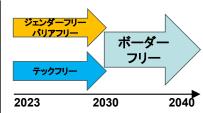
ジェンダーフリー・バリアフリー





ボーダーフリー





波及効果

ジェンダーフリー ベリアフリー テックフリー



教員免許規制緩和 教育指導要領改訂

バーチャル スクール 開校

VR空間に使用するサーバー管理や運営が必要に →バーチャルスクールの運用に関するビジネス



バーチャルスクールを通じた新たな起業アイデア

アントレ教育を受けた生徒の起業マインドを育成 →世間へ出ることでGDP向上効果

